



ジェンダーってなんだろう？

「男の子だから泣くんじゃない。女の子だからおとなしくしなさい。」と言われたり、聞いたことはありませんか。ほかにも「男の子だから大学まで行かなくちゃ。」とか、「女の子なんだからお母さんのお手伝いをしなさい。」とか…こんなふうに“男”“女”という性別だけで、行動や役割を決め付けたり、分けたりしてしまうことがあります。でも皆さんは、静かな男の子や元気な女の子がいることも、勉強ができるのは男女関係ないことも知っていますよね。このように、体のつくりの違いとは関係のない「男らしさ」「女らしさ」は、人間に生まれつきあるものではなく、私たちの社会や文化がつくりあげてきたものです。このつくりあげられた男女の違いを「ジェンダー」といいます。



だんじょきょうどうさんかく

男女共同参画ってどういうこと？

「男の子だから…」 「女の子だから…」と言われ続けて生活していると、**だんだん**とものごとを男女で分けて考えるようになってしまいます。性別で、ものごとを決めるのではなく、一人ひとりの能力や気持ちを尊重して、自分らしく生きるために男女が協力して一緒にものごとを行うことが“男女共同参画”です。

家族で
やってみよう！

ジェンダーチェック



ご家庭へのメッセージ



このリーフレットは、お子さんと一緒に“ジェンダー（裏面参照）”について考えていただく機会になればと作成したものです。

学校では男女平等教育が進んでおりますが、子どもは家庭での親の姿を見てジェンダーを形成する部分も大きいと言われております。お互いが尊重し合える家庭環境で、子どもが関心をもったり、チャレンジしたいことがあったら、性別に関係なく、その子の個性として応援してあげられたらステキです。

家族みんなの個性と能力を認め、助け合える家庭、地域社会を目指して、富士見市では男女共同参画に取り組んでいます。





家族でやってみようジェンダーチェック

そう思うところにチェックしてね!

<小学生はコチラ>

1. 男子は料理や洗たくができなくても勉強やスポーツができればよい。
2. 女子が児童会の会長だと頼りない。やっぱり男子の方がよい。
3. 洗たくや料理など、家のことは女の人の方が男の人より向いている。
4. 子どもを育てるのは女の人の仕事だ。
5. 男の人は、会社を一番大切にして、お金をかせいでくるのが仕事だ。休みの日に仕事をするのも仕方ない。
6. 男子が泣くと「男のくせにはずかしい」と思う。
7. 男子がスポーツで女子に負けるのは、はずかしい。
8. 女子が男子よりもよく食べたり飲んだりするのは、女の子らしくない。
9. バスや電車などの運転手が女の人だと「女の人の運転で大丈夫かな」と思う。

<大人はコチラ>

1. 担任の先生との連絡は母親の方がよい。
2. ふだん「男の子なんだから…」とか「女の子なんだから…」と、つい口にしてている。
3. 男の子なら、手伝いをするより勉強して良い成績をとってほしい。
4. 学校に提出する書類の保護者の欄には、父親の名前を書くのが当然だ。
5. 共働きの場合、育児休業は妻がとるべきだ。
6. 男性は、休日も家族より趣味や仕事仲間と過ごすことが多いのは仕方ない。
7. バスや電車などの運転手が女性だと抵抗を感じる。
8. 女性は家庭のことを優先しながら仕事につくべきだ。
9. 親が寝たきりになったとき、娘や嫁などの女性が介護する方が望ましい。

チェックが7~9個の人 “思い込み”はありませんか?

あなたは、まだ「男(女)だから」というカウの中に閉じこもっているようです。まず、「男(女)だから」という意識を持たずに、自分の気持ちを大切に育てることからスタートしてみましょう。



チェックが4~6個の人 “やり過ぎていること”はありませんか?

あなたは、頭では分かっているけど「男(女)ってこういうものかな」とやり過ぎしてしまっていることがあります。本当に男女によって“らしさ”が必要なのが、もう一度考えてみましょう。



チェックが0~3個の人 性別にこだわらずイキイキと過ごしているあなたはステキです!

あなたは、自分を大切にするように、まわりの人へも、性別に関係なく思いやりをもって接することができているようです。誰もがイキイキした日々を送れるよう、多くの人へあなたの考えを伝えてください。



※このチェックで皆さんに考えてほしいこと…

チェックが多いからダメということではありません。大切なことは、自分のことも相手のことも“男だから”“女だから”という性別によって役割や行動を決めつけていないか、ということです。今まで考えたことがなかった人は、これを機会にぜひ考えてみてください。